

# 取り組みの経過等について

～計画策定経緯・検討体制・エネルギーポテンシャル等～

令和8年2月25日

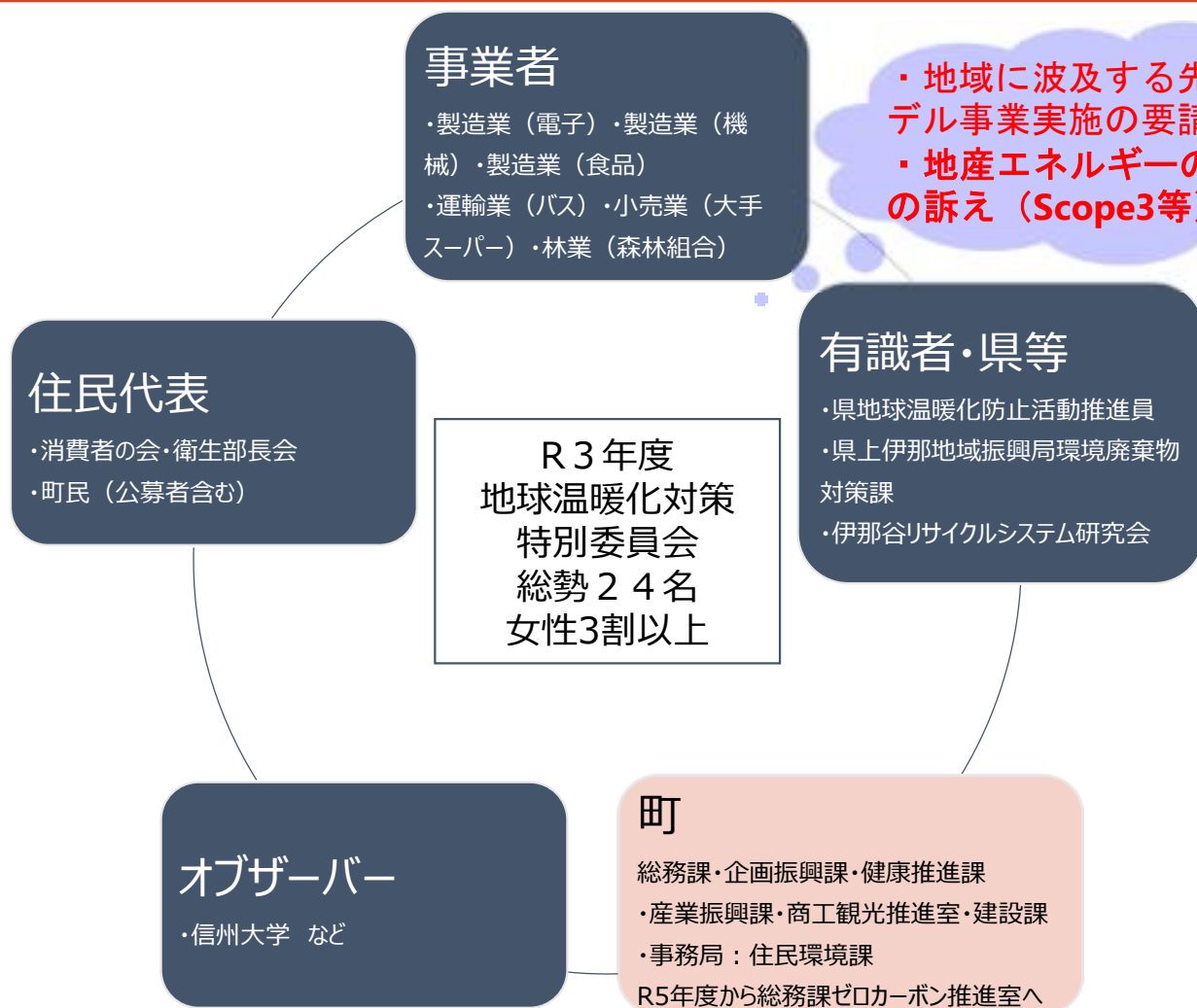
地球・環境・未来会議 in みのわ(第1回)

箕輪町役場 総務課ゼロカーボン推進室

## 地球温暖化対策実行計画 策定・施行までの経緯等

イベント	時期	概要
改正温対法公布	R3年6月	
条例改正	R3年6月議会	町環境保全条例を一部改正し、環境審議会の下部組織として「必要に応じて特別委員会を設置できる」旨を規定
<b>特別委員会の設置</b>	<b>R3年7月</b>	<b>町地球温暖化対策特別委員会を設置 以降R4年3月まで5回開催</b>
特別委員会の開催(第4回)	R3年12月	脱炭素促進区域について説明
特別委員会の開催(第5回・最終回)	R4年3月	最終まとめ 脱炭素促進区域について一定の理解
改正温対法施行	R4年4月	
町環境審議会から答申	R4年5月	町環境審議会から答申
町議会への説明	R4年6月	全員協議会において区域施策編・促進区域について説明
<b>町地球温暖化対策実行計画 施行</b>	<b>R4年7月1日</b>	<b>区域施策編（促進区域も設定）・事務事業編施行 2030年度までに2013年度比でCO<sub>2</sub>の実質60%削減目標</b>
ゼロカーボンシティ宣言	R4年7月3日	町文化センターホールにおいて町民の皆様とともに宣言
環境省 町事業計画書を受理	R4年9月	地域脱炭素移行再エネ推進交付金 重点対策加速化事業

# 地球温暖化対策実行計画 区域施策編の検討体制



出所 箕輪町公式サイト

<https://www.town.minowa.lg.jp/soshiki/dxsuishin/gyomu/2/1/1/378.html>

## 町内の再生可能エネルギー導入ポテンシャル

再エネ導入ポテンシャル	利用可能熱量 [億MJ/年]	発電電力量 [MWh/年]	町としての評価
◆太陽光発電	—	779,076	◎ 大いに期待できる
建物系	—	221,131	
土地系	—	557,945	
◆風力発電	—	712	× 安定的に風が吹かない地域
◆中小水力発電	—	24,959	△ 県企業局等に調査してもらったが適地なし
河川	—	24,949	
農業用水路	—	10	
◆太陽熱	4	—	
◆地中熱	22	—	△ 利用設備の導入コストが高い
再生可能エネルギー合計	26 [億MJ/年]	804,747 [MWh/年]	

出所 環境省 自治体排出量カルテ（箕輪町） 2024年11月末時点

# 小水力発電の可能性を調査するが適地がない状況

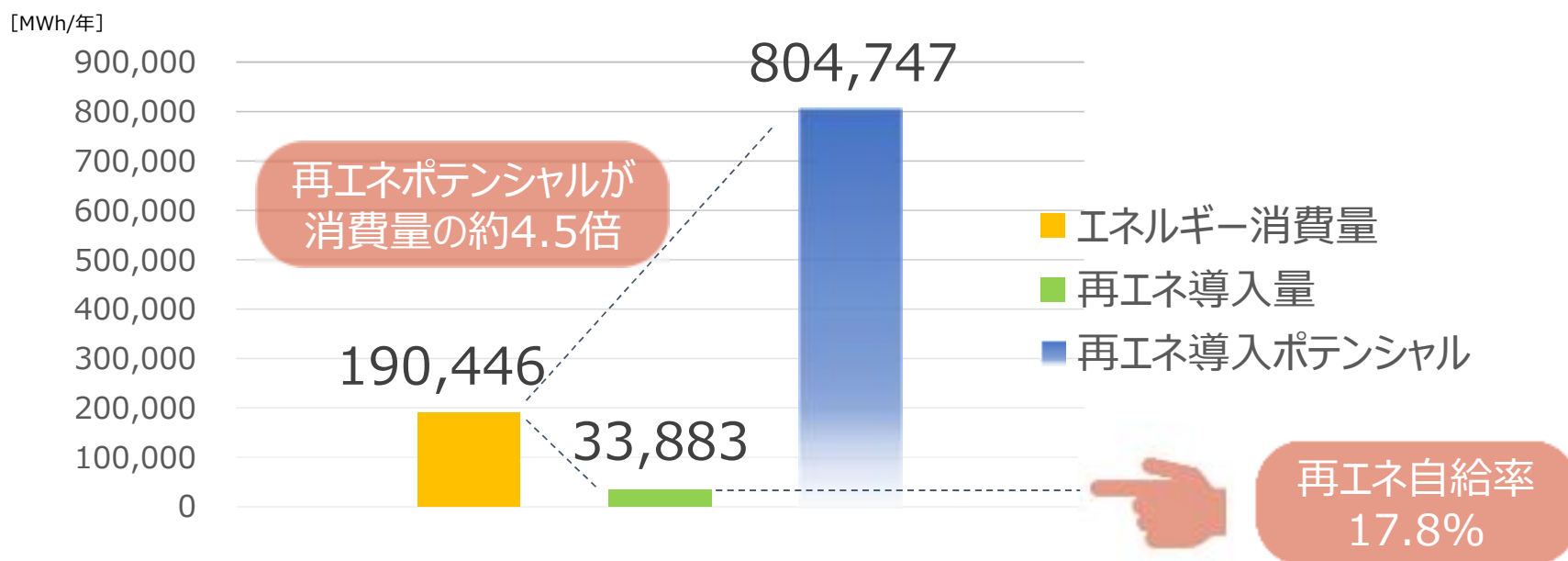
主要河川での県企業局職員による調査



農業用水路での小規模水力事業者による調査



## 区域内のエネルギー需要に対する 再エネ導入ポテンシャル（電力）



# 箕輪町のエネルギー収支の分析

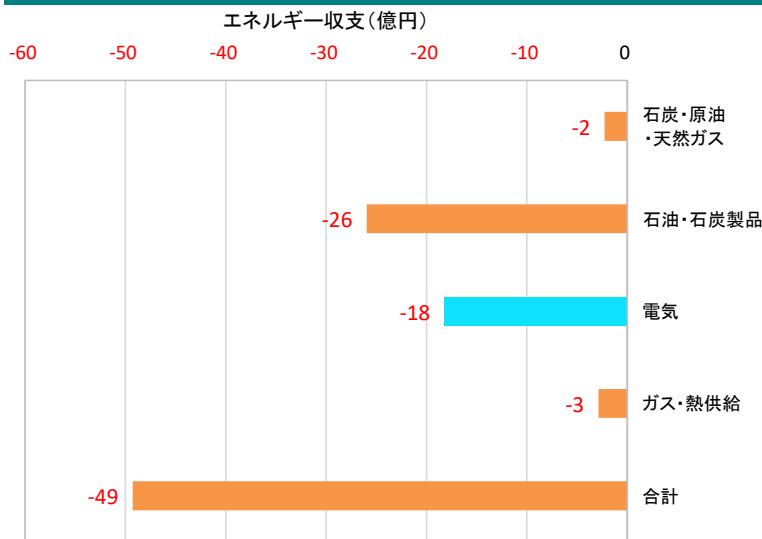
## 分析の視点

- エネルギー収支は、エネルギーの地域外への販売額(移輸出)から地域外からの購入額(移輸入)を差し引いたエネルギーの取引に関する収支であり、エネルギー収支の**赤字が大きい地域はエネルギーの調達を域外に依存している地域である。**
- ここではまず、エネルギー収支をエネルギー産業別に確認し、どのエネルギーの取引によってエネルギー収支が赤字または黒字となっているかを確認する(下図①)。
- 次に、付加価値に占めるエネルギー収支の割合を全国や県、人口同規模地域と比較し、地域経済の規模に対するエネルギー収支の水準を把握する(下図②)。

エネルギー収支は**-49億円**であり赤字となっている。エネルギーの内訳別では、「石油・石炭製品」の赤字が大きい。

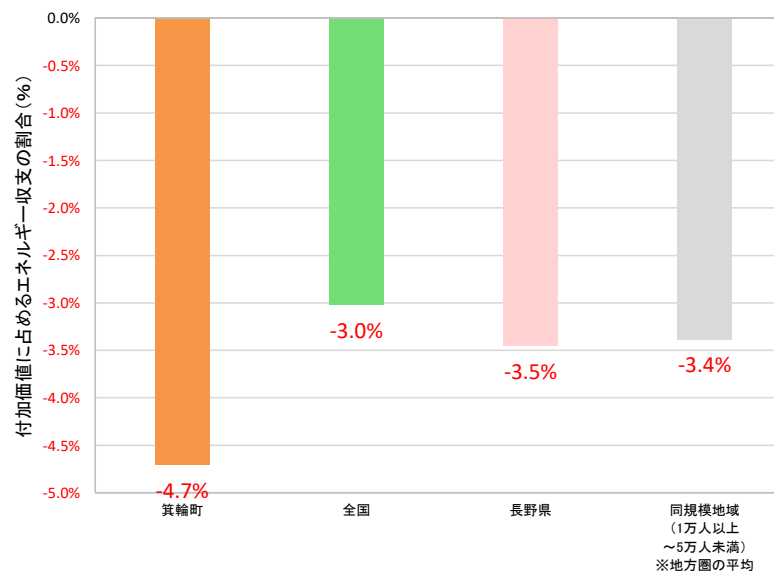
付加価値に占めるエネルギー収支の割合は、**-4.7%**であり、全国、県、人口同規模地域と比較して赤字の割合が高い。

### ① エネルギー収支<sup>注1,2</sup>



注1) 「石炭・原油・天然ガス」のエネルギー収支は、本DBの「鉱業」の純移輸出に全国平均の「鉱業」に占める「石炭・原油・天然ガス」の純移輸出の割合を乗じることで推計した。

### ② 付加価値に占めるエネルギー収支<sup>注2</sup>の割合



注2) エネルギー収支には原材料利用や本社・営業所等の活動(=非エネルギー)は含まれない。※Ver5.0までは含まれる  
出所: 「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業連関表」等より作成

# 令和7年7月22日 SDGs未来都市 選定

## 2025年度SDGs未来都市計画概要（様式2）

計画のタイトル：「つなぐ えがく みのわの未来」～SDGsで描くみのわの未来～

提案者名：長野県箕輪町

### 経済

#### 箕輪町の課題A

##### 安定的な産業基盤に向けた経営支援

- 産業用地の確保、事業者支援
- 農業拠点施設（みのわテラス）の充実



みのわテラス



経済面の相乗効果①  
住民満足度の向上

社会面の相乗効果①  
働き手のモチベーションアップ

#### <三側面をつなぐ統合的取組> もみじ湖プロジェクト

##### <統合的取組の概要>

- ・オーバーツーリズム対策
- ・企業CSV、地域連携の強化
- ・産学官金の連携
- ・労働力・担い手の確保、維持
- ・郷土愛の醸成

#### 箕輪町の課題C 脱炭素化の実現に向けた取組の推進

- 脱炭素化農業の推進
- 森林ビジョンの推進
- 観光地のオーバーツーリズム対策

環境面の相乗効果①  
CO2削減

経済面の相乗効果②  
企業活動の価値向上

### 環境



もみじ湖



### 社会

#### 箕輪町の課題B

##### 多様性を踏まえた安全安心なまちづくりの推進

- 充実している子育て環境の維持
- 災害に強いまちづくり



多文化共生のできる安全安心な暮らし

#### 協働でプロジェクトの実現を



SDGs未来都市選定証  
長野県箕輪町 殿

貴町の提案は、我が国におけるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献する優れたものと認められますので、SDGsの達成に向けた今後の取組を奨励し、ここに貴町がSDGs未来都市であることを証します。

令和七年七月二十二日  
内閣総理大臣 石破 茂